



京都市は千有余年もの間、雅びを極めた都として、常に日本中の人々に憧憬を抱かせ続けてきた町です。四季の魅力に彩られた悠久の地として、名所や旧跡をいたるところに残し、さらに今新しい文化を生み出しています。

時代の変化のあるたびに新しい伝統を生み、あくなき文化の蓄積がなされてきた京都ですが、現在、その歴史的伝統文化をみると、208件の国宝、1,853件の重要文化財の指定を受けた有形文化財(平成26年4月1日現在)をはじめ、伝統工芸の西陣織・京友禅・清水焼・京仏具・京漆器・京人形・京扇子、伝統芸能の京舞・大念仏狂言・歌舞伎・六斎念仏踊など、さらには精神文化の茶の湯・い

け花、また、葵祭・祇園祭・京都五山送り火・時代祭の京都四大行事をはじめとする伝統行事の数々など枚挙に暇ありません。これらの文化が絢爛と花開き、山紫水明の自然の中に、あるいは町並みの中に息づいています。



京都市街

京都と足利氏との関係は、日本史上変革の時期ともいえる「太平記」の時代からで、尊氏から義昭までの足利将軍15代、約240年にわたる幕府の歴史すべてが、京都での足利氏の歴史ともいえます。

足利将軍の菩提寺ともなった等持院や尊氏建立の天龍寺、室町幕府に隣接して建てられた相国寺は言うまでもなく、ことに3代義満の金閣、8代義政の銀閣に象徴される北山文化・東山文化は、現代日本文化の原点をなすもので、今日、京都市には、足利時代に定着した風俗文物が息づいており、寺院神社をはじめ各所にその足跡を見ることが

葵祭

5月15日



祇園祭(山鉾巡行)

前祭 7月17日
後祭 7月24日



時代祭

10月22日



等持院

足利将軍の菩提寺で霊光殿内には足利尊氏以下歴代の将軍の木像が並んでいます。

行事

- 毎年10月初め 等持院 寺宝展



相国寺・法堂(はっとう)

「無畏堂」(むいどう)と称し、現在仏殿を兼ねている。明徳3年(1392年)初建落成したが、度重なる火災や兵火によって四度災厄を蒙った。現在のものは慶長10年(1605年)に豊臣秀頼の寄進によって再建されたもので、わが国に現存する法堂では最古のものである。



金閣寺

正式には鹿苑寺といい足利義満の別荘として造られました。

写真:鹿苑寺 蔵



銀閣寺

正式には慈照寺といい特に庭園は東山文化を代表する名園として名高く、白砂と緑のコントラストが美しく心が落ち着きます。

行事

- 1月 7日 義政公命日法要
- 5月21日 開山忌

